

5. 環境教育・パートナーシップ

5-1 多様な環境教育・環境への意識の向上

5-2 環境保全活動への参加・参画の促進

5-3 環境に関わる多様な主体の連携ネットワーク

5. 環境教育・パートナーシップ

基本的な考え方

環境問題は、人間の社会経済活動が深く関連していますが、私たちの身近な問題であるとともに、一人ひとりの行動で改善できることがあります。

環境教育に対する市民意識は、アンケート調査結果において、学校以外での環境学習の必要性を「非常に重要だと思う」、「重要だと思う」との回答が 82.9%となっていることから、環境学習の機会を重要と考えている市民が多い結果となっています。子どもから大人までが環境問題に対する関心を持ち、環境に配慮した行動を促すため、学びや体験する機会として、「千歳学出前講座」や環境イベントの開催などを継続することが大切です。

また、市民・団体・事業者間のネットワークを形成し環境活動の拡充につなげるほか、世界共通の目標である SDGs や環境配慮意識の学習を幼少期から継続する必要があります。

基本目標 ～2030年の目指す姿～

全ての人々が環境を学び、パートナーとなって 良好な環境を未来につなげているまち

～多様な環境教育・環境への意識の向上／環境保全活動への参加・参画の促進／
環境に関わる多様な主体の連携ネットワーク～

現在の良好な環境を後世に引き継ぐため、市民に学ぶ機会を確保することにより、環境に対する意識醸成や行動を促します。

環境保全活動は、実践する市民や団体等が連携することにより、活動内容の充実につながるほか、環境問題への対応について、市民、事業者、市（行政）が一体となり、行動することが重要であるため、「全ての人々が環境を学び、パートナーとなって良好な環境を未来につなげているまち」を目指します。

目指す姿の実現に向けて、「多様な環境教育・環境への意識の向上」「環境保全活動への参加・参画の促進」「環境に関わる多様な主体の連携ネットワーク」に取り組みます。

目指す姿を実現するための取組

5-1. 多様な環境教育・環境への意識の向上



【市の取組】

1) 環境教育・人材育成

- 地域や職場や団体などの要請に対応し、環境に関する「千歳学出前講座」を開催します。
- 環境問題に関し、親子で一緒に考えるイベントや教室の実施を推進します。
- 豊かな自然や多様な動植物の生息環境を良好な状態で次世代に引き継ぐため、環境に関する学習機会を提供し、幅広い世代の行動を促進します。
- 支笏洞爺国立公園支笏湖地域における利用の集中やマナー違反などによる自然環境や野生動植物への影響を軽減するため、適正な利用など利用者の理解を促進します。
- 自然愛護や環境保全、資源循環への意識の向上を図るため、幼児期から少年期までの各発達段階に応じた「エコ活」や「子ども環境教室」等の環境教育を推進します。
- 幅広い世代の市民が郷土の自然、歴史、文化にふれ、学ぶことができる機会や場を提供します。

2) 環境に関する情報発信

- 「千歳市環境白書」や「子ども環境白書」、市ホームページなどで自然環境や生活環境についての情報提供に努めます。
- 各団体や民間で発行している情報誌等に環境配慮の記事を掲載するなど、環境保全の意識啓発を推進します。
- 千歳市への転入者に対して、環境配慮に係るリーフレット等を配布し、環境保全の意識啓発を推進します。
- 「環境月間」や「ちとせ消費者まつり」などで環境保全の取組についての周知啓発に努めます。

指 標	内 容	基準値 (令和元年度)	目標値
環境学習受講者数	「子ども環境教室」等の年間受講者数	1,905 人	2,000 人
環境活動スクール（エコ活）の登録者数	環境活動スクール（エコ活）に登録した小中学生の累計	59 人	100 人

【市民の取組】

- ・ 環境問題への理解を深めるため、市や市民団体などが開催する環境に関する行事や学習会、観察会、環境保全活動など積極的に参加しましょう。
- ・ 習得した知識やこれまでの経験を地域活動に生かしましょう。
- ・ 日常生活における環境負荷について、「環境家計簿^{*}」などを活用し把握しましょう。
- ・ まち歩きなどを通じて、身近な地域環境の良いところを再発見しましょう。

【事業者の取組】

- ・ 学校等の要請に対応し、環境に関する講師などの派遣に協力しましょう。
- ・ 施設見学等の受入れを通じて、子どもたちの環境学習を支援しましょう。
- ・ 職場や団体などで、地域環境を学ぶ「千歳学出前講座」を積極的に活用しましょう。
- ・ 環境イベント等への参加・出展に努めましょう。
- ・ 市民、団体が主体となって行う地域環境の保全のための活動を支援しましょう。
- ・ 職場から、環境保全活動を担っていく人材の育成を図りましょう。
- ・ 企業概要等のパンフレットや観光案内所などにおいて、自然環境の大切さを情報に盛り込み、市民や来訪者の自然への意識の醸成に努めましょう。

コラム：マイクロプラスチックについて

近年、海洋プラスチックごみ、とりわけマイクロプラスチックによる自然環境や生態系への影響が懸念されています。マイクロプラスチックとは、海洋プラスチックごみが、時間の経過によって劣化と破碎を重ね、5mm以下の微細片となったものです。そのマイクロプラスチックを、魚や貝などがエサと間違えて食べてしまう例が確認されています。



プラスチックは自然分解されないため、ずっと海に残ります。世界経済フォーラムの報告書によると、このままの状態が続いた場合、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測されています。

令和2年7月1日から、コンビニやスーパーなどのレジ袋が原則有料になりましたが、プラスチックごみを減らすために、私たち一人ひとりのプラスチックとの賢い付き合い方が問われています。

※出典：政府広報オンライン(令和元年度)、環境省 HP(平成31年度)

^{*}環境家計簿：地球温暖化防止を目的に、家庭の活動による温室効果ガスの排出実態を把握するため、家庭で消費する電気、ガス、ガソリン等のエネルギー使用量を二酸化炭素排出量として算出するもの。

コラム：子どもたちに向けた環境学習

千歳市では、様々な場面で環境について学ぶことができます。

●子ども環境教室

地球温暖化の影響などの原因を理解し、日常生活における温暖化防止活動を実践するため、小学生を対象に参加体験型環境教室を実施しています。

- ① 公益社団法人ガールスカウト北海道第31団は「ちとせ消費者まつり」において、環境の保全を学ぶ「環境かるた」や「クイズ」などを開催しています。
- ② 公益財団法人北海道環境財団の「地球温暖化ふせぎ隊」と連携し、ゲームやグループ討議などを通じて、楽しみながら地球温暖化の原因や対策について学ぶ体験教室などを開催しています。



① 子ども環境教室(北ガス文化ホール)



② 子ども環境教室(青空学童クラブ)

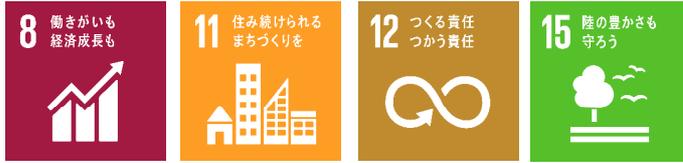
※出典:千歳市環境白書(令和元年度版)、こども環境白書(令和元年度版)

●環境活動スクール制度(通称:エコ活)

「環境活動スクール制度」は、児童生徒の環境保全意識の高揚を図ることを目的として、千歳市が実施する事業です。小学3年生から中学生までを対象としており、千歳市が主催する環境関連行事への参加や、夏休みに自由研究で環境について学習したり、学校での環境に関する活動をするなど、取組に応じて進級・認定する制度になっています。



5-2. 環境保全活動への参加・参画の促進



【市の取組】

1) 環境活動への活動支援・参加促進

- ・ 植樹、花壇整備等の活動を支援します。
- ・ 市民団体、事業者等が行う清掃活動、植樹や花壇整備、自然観察会、環境保全活動などの情報を発信し参加を促進します。

2) SDGs の普及啓発

- ・ SDGs の理念や考え方の周知を行うほか、環境保全活動に SDGs の要素を取り入れることにより、その普及啓発を推進します。

指 標	内 容	基準値 (令和元年度)	目標値
各種環境行事参加者満足度	各種環境行事で実施するアンケートに「今後もこのような行事に参加したい」と回答した割合	-	95%

【市民の取組】

- ・ 自然体験、ハイキングや登山、自然と親しむイベントなど身近な自然とのふれあいに積極的に参加しましょう。
- ・ 観光農園や農業体験、農産物の直売などを通じて、生産者や来訪者等と交流を深めましょう。
- ・ 事業者等が行う清掃活動、植樹や花壇整備、自然観察会、環境保全活動などに参加しましょう。
- ・ 環境保全活動を担う知識と実践力を積極的に活用しましょう。
- ・ SDGs について、理念や考え方を生活の中に取り入れましょう。

【事業者の取組】

- ・ 清掃活動、植樹や花壇整備、自然観察会、環境保全活動などに取り組みましょう。
- ・ 市民や団体が行う清掃活動、植樹や花壇整備、自然観察会、環境保全活動などについて、積極的に支援しましょう。
- ・ 農業振興のため、地産地消の推進や農泊の受入など、新たな交流・ふれあいの場をつくりましょう。
- ・ SDGs について、理念や考え方を企業活動等の中に取り入れましょう。

5-3. 環境に関わる多様な主体の連携ネットワーク



【市の取組】

1) 主体間の連携促進

- ・ 環境保全活動を行う市民や団体の交流・連携などを促進するため、情報共有できる機会の提供などを行います。
- ・ 近隣市との交流を深め、環境保全に係る情報交換等を促進します。

2) 情報発信

- ・ 自然環境を活用した観光推進に当たり、自然と共生のためガイドの知識向上に努めます。
- ・ 環境保全啓発事業の行事を通じて、団体等の環境保全の取組事例を紹介します。

指標	内容	基準値 (令和元年度)	目標値
市民の環境保全活動実践割合	環境イベント等で実施するアンケートで「環境教育や環境保全活動を実践している」と回答した割合	42.3%	70%

【市民の取組】

- ・ 環境保全活動を行う市民団体は、地域の環境や活動報告などについて、他の団体等と積極的に情報交換を行いましょ。
- ・ 市内を歩いて、見て、感じた身近な環境について、市民間での情報共有や、市（行政）に対して情報提供しましょ。
- ・ 団体・事業者・市が実施する環境イベントに積極的に参加し、交流を深めましょ。

【事業者の取組】

- ・ 清掃活動、植樹や花壇整備、自然観察会、環境保全活動の行事など市民・団体と連携をしましょ。
- ・ 環境保全に係わる活動や技術・知識を市民や市（行政）へ情報提供しましょ。
- ・ 団体や市が実施するイベントに積極的に出展しましょ。
- ・ ほかの事業者等が行う環境保全活動に参加し、連携を広げましょ。

コラム：環境保全に向けた啓発

千歳市では、広く環境の保全及び創造についての関心や理解を深め、行動を実践することを目的に普及啓発を行っており、その一部の取組を紹介します。

●千歳学出前講座

「千歳学出前講座」では、環境に関する講座を実施しています。千歳市の職員が講師となって地球温暖化防止や環境配慮行動等を説明する講座です。

●環境月間行事

千歳市環境基本条例第10条では6月を環境月間と定めており、この趣旨に沿った行事を実施しています。

環境月間の周知

市民カレンダーへの掲載、環境月間ポスターの掲示及び千歳駅前多目的メッセージ広告塔により環境月間の周知を行っています。

環境保全啓発パネルの展示

千歳市消費者協会と協力して、地球温暖化防止、低炭素社会に向けた取組などの環境保全啓発パネルや環境への負担が少ない生活様式の提案などについての展示を行っています。

アイドリングストップ推進運動

市役所本庁舎周辺にアイドリングストップなどの「のぼり旗」の設置等、地球温暖化防止の啓発を行っています。

●ちとせ消費者まつりでの環境保全啓発

「ちとせ消費者まつり」では、エコドライブや家庭で実践できる地球温暖化防止の取組について、普及啓発を行っています。



※出典：千歳市環境白書(令和元年度版)、ちとせ消費者まつり2019